～　署長のつぶやき　～

Vol.12

当署はその名称のとおり港湾地区を管轄としており、管轄するふ頭でいうと、東側から西側に向けて「荒津地区」「須崎ふ頭」「博多ふ頭」「中央ふ頭」「東浜ふ頭」「箱崎ふ頭」となります。今回のつぶやきでは、博多ふ頭の施設についてちょっと触れてみましょうか。

ベイサイドプレイス博多



私のなかでは（昭和生まれ）おしゃれなデートスポット、というイメージが強いですが、都市高速からもアクセスが良くて、その時代や世相、流行にあわせて常に施設がアップデートされている印象です。
かれこれ２０年以上前になりますが、屋内スノーボード場があった頃に、幾度となく練習に行きました。
現在も施設内外でいろんなお店がありますし、多様なイベントも開催されているなど特に休日やその前後は結構な賑わいで、観光で福岡に来ている外国の方も多く見かけます。
施設内にある円筒型アクアリウム水槽・・・かなり昔からあるんですよね。
博多臨港警察署に赴任して、久しぶりに中に入ったとき、「ああ、まだあの頃と同じ水槽があるんだ！懐かしいな～」と、うれしく思いました。

博多ポートタワー



東京タワーや二代目通天閣など、国内の代表的な「タワー六兄弟」の設計をした内藤多仲博士の設計によるもので、昭和39年に博多港の観光拠点として整備された「博多パラダイス」の主要施設として建設されたタワーです。
当時は二重構造となっている展望台の１階展望台に回転展望グリルが設置され、博多湾の展望を楽しみつつ食事ができたとか。
また、タワー周辺の施設ではプールや温泉、宴会場にレストラン、子供向けのプレイランドなどがあり、ザ・昭和！の魅力が満載ですね。
福岡市の観光スポットとしての人気はなかなかのもので、夜間のライトアップされた美しい景観は、国内はもとより外国からの観光客の皆さんにも大好評。懐にも優しい入場無料です。